

5 古民家の再生や活用を応援します

県では、古民家の建物調査や再生提案を行うとともに、市町と共に改修工事費を補助しています。古民家の再生・活用を考えている人は、まずご相談ください。(県住宅政策課)

古民家再生促進支援事業

- 専門家による古民家の調査・再生手法の提案(無料)
- 地域の活性化につながる地域交流施設等に改修する場合の改修工事費補助

申し込み受け付け中

※要件や申請方法など詳しくは県ホームページで確認してください

古民家改修事例

まる。～pizza&cafe marumaru～(神戸市北区)

自然豊かな場所に店を持ちたいと物件を探していた藪正義さんは、神戸市から北区大沢町に立つ築100年以上の古民家を紹介され、周囲の環境にほれ込み購入。「外観は生かして中を丸ごと改修したかったのですが、予算的に諦めかけていました」と言います。そんな時、県の古民家再生促進支援事業を知り、金銭面をクリア。6月に念願のピザ店をオープンしました。既に地域の人でにぎわい、音楽会などの開催も予定しているそうです。(取材・文 本紙編集部)



県住宅政策課 ☎078-362-3583 📞078-362-9458 兵庫県 古民家再生促進支援事業

6 独りで子育てしていませんか

就学前の子どもを育てている家庭を支援するため、県では「ひょうご子育て相談」を展開。相談内容に応じて、専門家で構成する「在宅育児応援団」につないでいます。子育てに悩んでいる人は、まず相談を。独りで抱え込まず、周りの力を借ります。(県子ども政策課)

専用ダイヤル #7312 LINEチャット相談

詳しくはこちら




肩の力を抜いて心地いいと思える関わりを大切に

在宅育児応援団【助産師】小島光華さん(神戸市)

訪問時はお話を傾聴し、気持ちに寄り添うことを大切にしています。そして、支援の有無や環境など、子育て状況を確認しながら困り事の原因を整理していきます。解決策や判断基準がある場合は具体的なアドバイスをしますが、保護者がその原因に気づき意識や行動が変わるきっかけになるような関わり方をすることを心がけています。「良い子育てをしなければ」と頑張りすぎないよう、「それでいいよ」「子育てに正解はないので肩の力を抜いて、お子さまといて楽しい、心地いいと思える関わりを大切に」と伝えるようにしています。

※応援団として活動する専門家を随時募集しています。応募方法など詳しくは県ホームページで確認してください



県子ども政策課 ☎078-362-4183 📞078-362-3011 ひょうご子育て相談

これからも皆さんと共に

知事就任 2年を終えて

知事就任から2年が経過しました。この間、新型コロナウイルス感染症への対応や原油価格・物価高騰対策など、県民の皆さんの暮らしを守ることを最優先に進めてきました。

こうした中でも、県立学校施設の環境改善や奨学金返済支援の拡充、2025年大阪・関西万博に向けたひょうごフィールドパビリオンの展開、誰もが気兼ねなく旅行できるよう全国初のユニバーサルツーリズム推進条例の制定、不妊・不育治療支援の充実など、県民の皆さんの声を受け止め、施策に反映してきました。今後とも県政運営の基本方針は、対話と現場主義の徹底です。県民の皆さんとの対話の機会を一層増やし、県政に生かしていきます。



兵庫県知事 齋藤 元彦



神戸まつりパレード

ひょうごフィールドパビリオンの展開

2025年大阪・関西万博に向けて、SDGsに即した活動を地域の人たちが主体となって発信し、多くの人に来て、見て、学び、体験していただく取り組みを県内各地で展開。

県立学校の教育環境の整備と奨学金返済支援の充実

老朽化した施設の整備や部活動用具の更新など、2028(令和10)年度までの6年間で約300億円を集中投資。また、中小企業と連携した奨学金返済支援制度について、就職後5年間で最大約100万円を支援する内容に充実。



県立高校視察



ユニバーサルツーリズム推進検討会

全国初のユニバーサルツーリズム推進条例の制定

誰もが旅行を楽しめる社会を目指すユニバーサルツーリズム推進条例を全国で初めて制定。宿泊施設などの受け入れ態勢の充実をハード・ソフトの両面から支援。

ひょうごプレミアム芸術デーの創設

県内の芸術文化施設を1週間、無料開放する「ひょうごプレミアム芸術デー」を創設。手話通訳の配置や一時保育の実施など、県民誰もが楽しめる環境も整備。



オープニングイベント



不妊治療外来視察

不妊治療支援の充実

不妊治療ペア検査や不育症の検査・治療に対する助成制度の所得制限を撤廃。また、本年度不妊治療支援検討会を設置し、当事者目線でさらなる支援の充実へ。